



大阪府生物多様性地域戦略について

全てのいのちの共生を目指して

2022年10月23日

大阪府

大阪の自然環境

大阪の森・里・川・海

森

- ・大阪府域の森林は、北は北摂山系、東は金剛生駒山系、南は和泉葛城山系に囲まれています。また、生物多様性の保全など様々な公益的機能を有しており、府民にとって貴重な自然資本となっています。



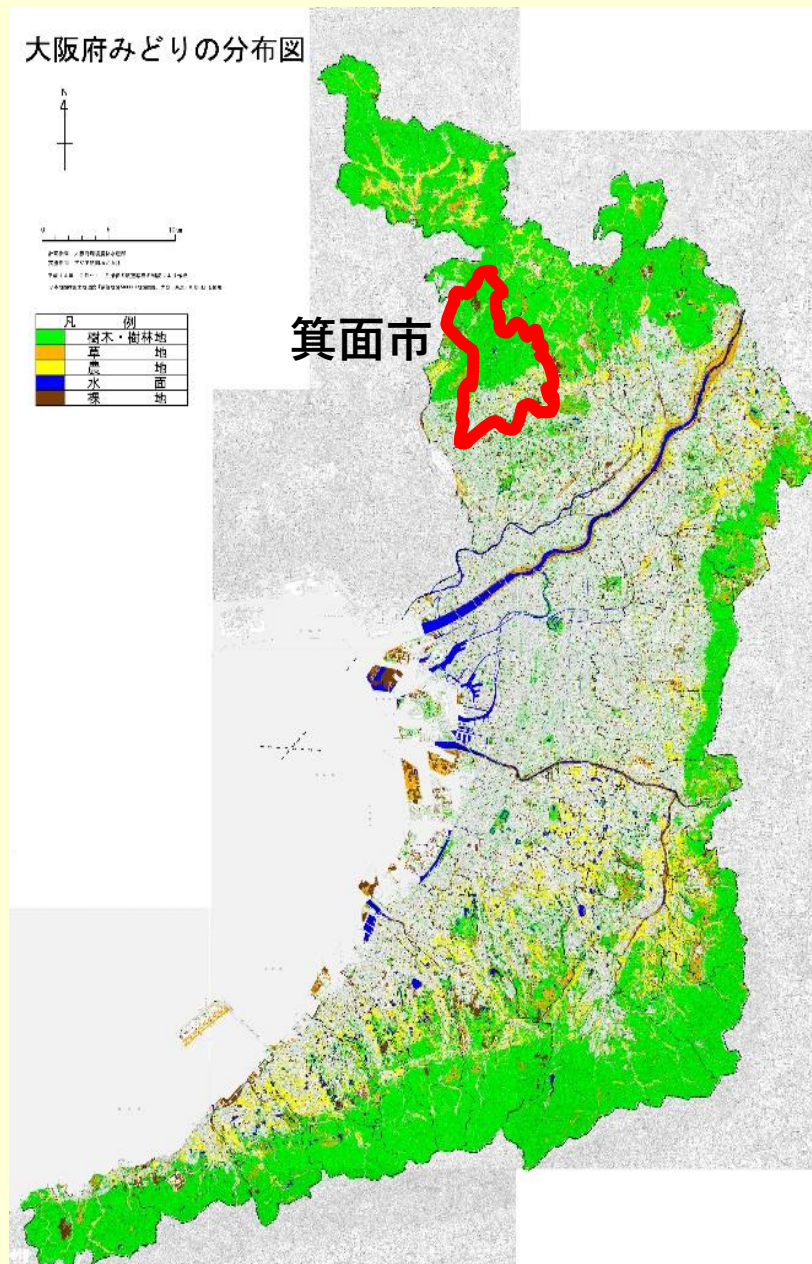
和泉葛城山ブナ林

川

- ・大和川水系や淀川水系など、多数の川が流れており、特に淀川のワンド(※)は水生生物の重要な生息環境として、生物多様性を育む場となっています。



淀川のワンド群



箕面市

里

- ・生き物の生息場所としても重要な役割を果たす水田群が北摂地域や南河内地域などに残されています。



穂谷の雑木林

海

- ・川が海に流れ込む河口部に形成される干潟は、多様な生物の生息場所となっています。



男里川河口の干潟

※：明治時代に水制工（船を通すために川の水深を深くすることを目的として設けられた構造物）が造られたことにより生まれた環境

(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター)

大阪に生息する多様な野生動植物種

大阪には8,700種以上の生き物が生息



ヒロオビミドリシジミ
(府絶滅危惧Ⅰ類)
三草山が日本における分布の東限



ハッチョウトンボ
(府絶滅危惧Ⅰ類)
平地から低山地の湿地や湿原に生息



イタセンパラ
(府絶滅危惧Ⅰ類、環境省ⅠA類)
天然記念物であり、
淀川、富山、濃尾平野にのみ生息



オオサンショウウオ
(府絶滅危惧Ⅱ類、環境省Ⅱ類)
特別天然記念物であり、
府内北部の河川等に生息



コアシサシ
(府絶滅危惧Ⅰ類、環境省Ⅱ類)
夢洲で営巣が確認されている



サギソウ
(府絶滅危惧Ⅱ類、環境省準絶滅危惧)
日当たりのよい湿地に
自生する野生のラン

写真提供： (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター、
大阪府立大学、(公財)大阪みどりのトラスト協会

明治の森箕面国定公園

箕面ピジターセンターだより

2022年
7月・8月
9月号

季刊 箕面ピジターセンターだより NPO法人みのお山麓保全委員会・大阪府 発行

鳥たちの夏 箕面国定公園の森の中はコンクリートで囲まれた街なかと比べると真夏でも気温が低く、過ごしやすいです。川の水が流れる音も涼を感じさせてくれます。川辺では鳥たちも水浴びをしています。鳥の水浴びは、体温を下げるためではなく、体を清潔に保つための行動なので夏以外の季節にも見られます。

 オオルリ	 キビタキ	 サンコウチョウ	 センダイムシクイ
 カワラヒワ	 メジロ	 キセキレイ	 カワガラス
 シジュウカラ	 ヒガラ	 ホオジロ	 ヒヨドリ

Meiji-no-mori Minoh Quasi-National Park

生物多様性の恵み（生態系サービス）

- 供給サービス：食料、水、薬用資源
- 調整サービス：ヒートアイランド緩和、炭素固定、局所災害の緩和
- 生息・生息地サービス：生息・生育環境の提供
- 文化的サービス：レクリエーションや観光の場と機会

（出典：環境省「生物多様性と生態系サービス」）



供給サービスのイメージ
（食料、水）



文化的サービスのイメージ
（写真：箕面市観光協会HP）

生物多様性

支える

脅かす

生物多様性の4つの危機

- ① 開発など人間活動による危機
- ② 自然に対する働きかけの縮小による危機
- ③ 人間により持ち込まれたものによる危機
- ④ 気候変動など地球環境の変化による危機

（写真提供：（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所）



放置された里山林の状況
（危機②関係）

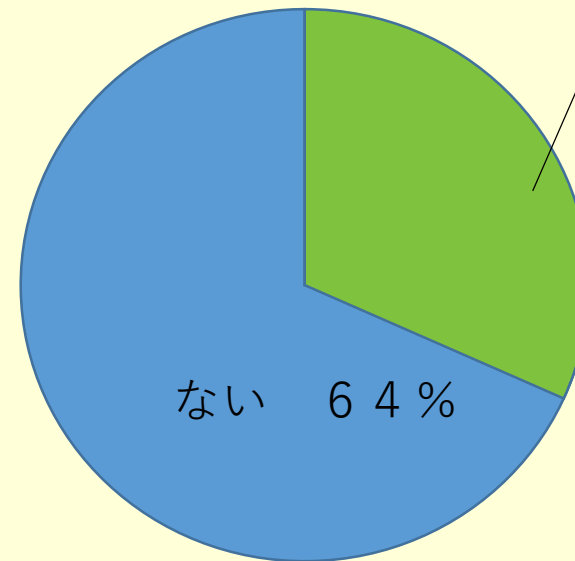


特定外来生物
クビアカツヤカミキリ
（危機③関係）

大阪府における生物多様性の課題

【2022年府民アンケート】

「生物多様性」という言葉を見聞きしたことありますか？



ある 36%

このうち、
生物多様性のある程度説明できる
5%

主な課題

幅広い層への
情報発信不足

保全活動参加者の
固定化

継続的なモニタリン
グ体制の構築

生息環境の保全に資する
施設の機能の維持

企業ニーズの十分な
くみ上げの不足

大阪府生物多様性地域戦略の目標

2030年の実現すべき姿

全てのいのちの共生

- 生物多様性の保全や自然資本の持続可能な利用の機運が醸成され、多様な主体が連携し、府域の自然環境の保全及び回復活動が進んでいる。
- 府民、事業者、民間団体などあらゆる主体が生物多様性の重要性を理解し、日常生活の中でも自然環境に配慮した行動をしている。
- 希少な野生生物について生息状況のモニタリングが進むとともに、関係者が連携して特定外来生物の防除対策が進んでいる。

(「2030大阪府環境総合計画」より抜粋)

大阪府生物多様性地域戦略の目標と施策方針

大阪府生物多様性地域戦略の目標

- ◆自然の恵みに関する意識の向上
- ◆自然環境に配慮した行動の促進

- ◆自然環境の持続的な保全の推進
- ◆事業者等と連携した保全活動の推進
- ◆特定外来生物の防除の推進

- ◆市町村や保全団体等と連携したモニタリング体制の構築

施策の基本方針

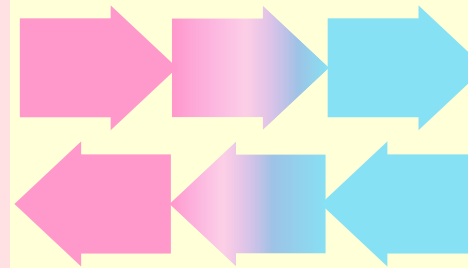
取組方針 1

生物多様性の理解と生物多様性に資する行動の促進

取組項目

- 1－1 自然の恵み（生態系サービス）に関する教育・普及啓発
- 1－2 自然と触れ合える場の整備
- 1－3 自然と触れ合える場の情報発信
- 1－4 府内市町村の取組の促進

各主体の理解・
行動の促進



自然資本の
維持・充実

取組方針 2

自然資本の持続可能な
利用、維持・充実

取組項目

- 2－1 多様な主体と連携した森・里・川・海における取組
- 2－2 気候変動に対する取組
- 2－3 外来生物に対する取組
- 2－4 自然が持つ多様な機能を活用した取組

取組の基礎となる仕組みづくり・調査研究

取組方針 3

生物多様性保全に資する仕組みづくりの推進

取組項目

- 3－1 希少な野生動植物種の保全に資する仕組みづくり
- 3－2 保護地域内外における効果的な保全の仕組みづくり
- 3－3 生物多様性保全に資する調査研究

大阪府生物多様性地域戦略の取組内容について(取組方針1)

目標

- ◆自然の恵みに関する意識の向上
- ◆自然環境に配慮した行動の促進

取組方針 1

生物多様性の理解と生物多様性に資する行動の促進

生物多様性の日常化

日々の暮らしや事業活動等、
日常的な場面において生物多様性
に配慮した行動をすること

生物多様性の身近化

生物多様性を身近なものとして
感じるようになること

大阪府生物多様性地域戦略の取組内容について(取組方針1)

＜生物多様性の身近化の取組例＞

- 府内の生物多様性関連施設と連携した普及啓発
… 自然観察など、五感により自然を体感できる
季節別のプログラムの提供

府内の生物多様性 関連施設

- ・ 大阪市立自然史博物館 様
- ・ 大阪市立長居植物園 様
- ・ 天王寺動物園 様
- ・ 箕面公園 様
- ・ 箕面公園昆虫館様
- ・ 箕面ビジターセンター 様 等



自然観察会（イメージ）



大阪府生物多様性地域戦略の取組内容について(取組方針2)

目標

- ◆自然環境の持続的な保全の推進
- ◆事業者等と連携した保全活動の推進
- ◆特定外来生物の防除の推進

取組方針 2

自然資本の持続可能な利用、維持・充実

森・里・川・海における
保全・再生・創造

特定外来生物の防除

事業者等の生物多様性保全に
資する取組の促進

<森・里・川・海における保全・再生・創造の取組例>

● 堺第7-3区「共生の森」における森づくり活動

- … 堺臨海部（7-3区）の産業廃棄物最終処分場の一部において、府民やNPO等との協働による森づくりを実施

参加対象

- ・ 府民
- ・ 企業
- ・ 学校
- ・ NPO
- ・ 研究機関



共生の森「植樹祭」

＜事業者等の生物多様性保全に資する取組の促進の取組例＞

●「生物多様性保全推進ツール」の提供

…企業・団体のみなさまの生物多様性保全の取組を促進するため、一元的な支援を実施予定

- おおさか生物多様性応援宣言（仮称）
- おおさか生物多様性パートナー協定
- 生物多様性保全基金等の寄附制度のご紹介
- 保全活動フィールドや保全活動団体とのマッチングによる活動支援

大阪府生物多様性地域戦略の取組内容について(取組方針2)

生物多様性保全推進ツール

- 企業・団体のみなさまのニーズに応じた支援を行います

① 生物多様性保全に資する各種取組を行われる場合

➤ おおさか生物多様性応援宣言（仮称）

- ・ 生物多様性の保全に積極的に取り組む団体・企業を登録し、各取組をPR予定
- ・ 来年度から運用開始予定

宣言項目（案）

- 地域の自然環境や生き物の保全に貢献します
- 従業員への環境教育により、生物多様性保全に対する意識を向上します
- 自然環境や生息・生育する生き物の調査研究を行います
- 生物多様性に配慮した商品・サービス・食材を積極的に利用します 等

大阪府生物多様性地域戦略の取組内容について(取組方針2)

生物多様性保全推進ツール

② 自社敷地内等に活動フィールドをお持ちの場合

➤ おおさか生物多様性パートナー協定

大阪府が大学・研究機関等と連携し、企業の生物多様性保全活動を支援する協定制度です

③ 資金面でのご協力を検討される場合

➤ 大阪府の生物多様性保全基金等の寄附制度のご紹介

府内における野生動植物の生息・生育環境の保全・再生・創出や、自然環境教育の推進などに活用しています

④ 府内各地における保全活動への参加を希望される場合

➤ 保全活動フィールドや保全活動団体とのマッチングによる活動支援

＜特定外来生物の防除の取組例＞

- 「大阪府外来生物アラートリスト」(仮称)を作成
… 府内で確認されている特定外来生物の防除を進めるため、生態系等への影響の大きさや分布状況等を示したリストを本年度中に作成予定

特定外来生物とは？

- ・ 外来生物(海外起源の外来種)であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定(出典：環境省HP「日本の外来種対策」)
- ・ 府内ではアライグマ、オオキンケイギク、クビアカツヤカミキリ等、32種類が確認されている



特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」

生態系被害 ★ ★ ★

農林水産業被害 ★ ★ ★

(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

大阪府生物多様性地域戦略の取組内容について(取組方針3)

目標3

◆市町村や保全団体等と連携したモニタリング体制の構築

取組方針3

生物多様性保全に資する仕組みづくりの推進

野生動植物種の
モニタリング体制の構築

「大阪府レッドリスト2014」
の改訂

＜野生動植物種のモニタリング体制の構築の取組例＞

「大阪府生物多様性データバンク」(仮称) の設置

… 野生動植物種のデータ、資料等を蓄積し、
データ提供など、活用支援を実施予定

【 大阪に生息する多様な野生動植物種 】



ヒロオビミドリシジミ



イタセンパラ



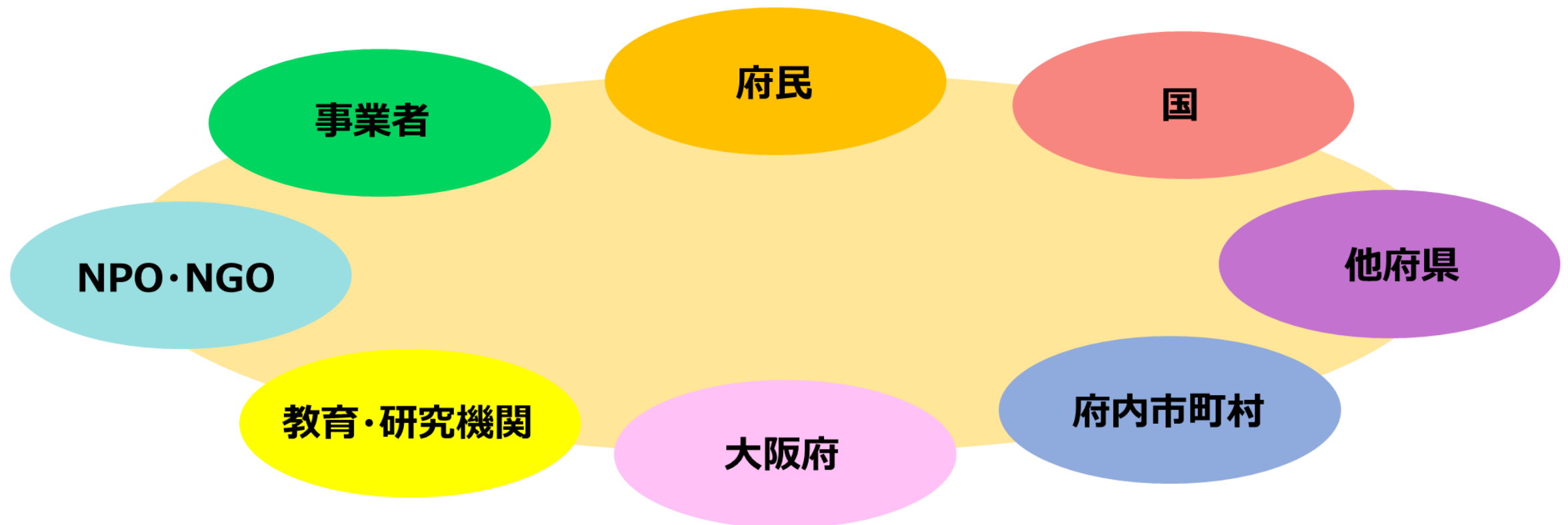
ハッチョウトンボ



サギソウ

大阪府生物多様性地域戦略の推進について

推進体制



各主体のみなさまと連携・協働を図りながら
取組を推進していきます